

## ベラルーシ公開情報取りまとめ

(5月11日～5月17日)

2019年5月20日

在ベラルーシ大使館

### 【主な出来事】

- EU、ベラルーシ・EU間の優先パートナーシップ協定に関し、6月中の最終合意を見込む(5/17)
- ベラルーシ、人口減(2019)(5/12)
- ベラルーシ・ロシア、石油パイプライン「友好」における石油汚染損失額算定ワーキンググループ設立合意(5/16)

### 内政・外交

#### 【内政】

##### ●2019年1月～4月国内インフレ率2.7%

食品物価指数の同率は3%、食品を除く消費財の物価指数の同率は1.7%、サービス関連の同率は3.3%であった。ベラルーシ銀行の見通しによると、2019年インフレ率は5%未満に留まる見通しだが、ユーラシア開発銀行によれば5.7%に達する見通し。ベラルーシ国内におけるインフレの背景として、ロシア国内のインフレ、ベラルーシルーブル安、賃金上昇が挙げられている。

(5/13 ベラパン通信)

#### 【外交】

##### ●EU、ベラルーシ・EU間の優先パートナーシップ協定に関し、6月中の最終合意を見込む

欧州委員会は、東方パートナーシップ10周年記念式典およびハイレベル会合において、EU・ベラルーシ間で優先パートナーシップ協定や、査証発給簡素化や本国送還に関する協議が行われたことを発表。

(5/17 ベルタ通信)

##### ●EU、オストロヴェツ原発に関しリトアニアへ働きかけを行う予定。

EUは、ベラルーシ政府が、オストロヴェツ原発の放射能安全性をEU基準で管理することを高く評価している。EUは、同原発建設に関するリトアニア・ベラルーシ間の意見不一致が、ベラルーシとEUにおける優先パートナーシップ協定署名に影響を及ぼすことを危惧している。

(5/17 ベラパン通信)

##### ●駐ベラルーシ・スイス外交代表機関、大使館へ実館化

(5/15 ベルタ通信)

##### ●東方パートナーシップ・EU間の代表機関設立構想(5/14)

東方パートナーシップ10周年記念式典にてチャプタービッチャ・ポーランド外務大臣が東方パートナーシップ・EU間代表機関設立を提案。チャプタービッチャ氏の提案内容は以下の通り：

- ・目的は「EUと東方パートナーシップの協力強化」
- ・議長制(議長は任期1年で各国持ち回り)
- ・1年に1度、議長国首都で会議開催

ベラパン通信の取材において、マケイ・ベラルーシ外務大臣は同構想に対し以下発言：

- ・ベラルーシは同機関設立構想を検討する。
- ・魅力的な構想であるが、同機関が官僚的・非実用的なものになってしまわないか懸念する。

(5/14 ベラパン通信)

##### ●マケイ外務大臣、東方パートナーシップ10周年記念式典へのルカシェンコ大統領不参加についてコメント(5/13)

発言要旨は以下：

- ・ベラルーシは依然EUとの関係強化において高い水準に達していない
- ・ルカシェンコ大統領の訪問は、最大限成果を上げられるもので、実りのあるものであるべきだが、現時点

ではその段階に至っていない。

・しかしながら、東方パートナーシップ 10 周年式典は関係各国にとって非常に重要なものである。

(5/13 ベラパン通信)

## 経済

### 【国内経済】

#### ●ベラルーシの GDP(2019年1月～4月)、昨年同時期対比1.4%の増加

2019年1月～4月のベラルーシの GDP(名目)は391億ベラルーシルーブルであり、昨年同時期対比で1.4%増加。物価変動の影響を考慮した実質 GDPは昨年同時期対比5.7%の増加。

(5/17 ベルタ通信)

#### ●ベラルーシ建設機械製造大手ベラーズ社、5G 対応の無人ダンプ・ローダーの現地実験開始

(5/17 ベラパン通信)

#### ●欧州復興開発銀行(EBRD)、ベラルーシ国営企業民営化の新規案件に参加意向

アレクサンドル・ピヴァヴァールスキーEBRD ベラルーシ支店長が、ベラルーシ国営企業民営化案件について以下発言

・国営企業民営化案件に参画する目的は、利益・運営効率を高め、投資家にとって魅力ある企業にする為。

・ベルアフトドル民営化をはじめとし、EBRD はベラルーシにおいて国益企業民営化案件に参画しているが、これらはパイロット案件である。

・パイロット案件が成功すれば、今後も EBRD としてベラルーシ国営企業の民営化案件に参画をしていきたい。

(5/15 ベラパン通信)

#### ●2019年第一四半期の外国からの投資額、昨年同時期対比減少

2018年第一四半期のベラルーシに対する外国からの投資額は36億ドルであったが、2019年の同額

は30億ドルと約6億ドル減少した。

(5/14 ベラパン通信)

#### ●ベラルーシ、人口減(2019)

2019年第一四半期で10,707人の自然減。移民流入による人口増が795人で、総計9,912人の人口減。人口増減(地域別)の内訳は以下の通り。

地域	2019/4	2019/1	増減
ブレスト州	13,794 千人	13,805 千人	-1.1 千人
ヴィテブスク州	11,688 千人	11,715 千人	-2.7 千人
ゴメリ州	14,082 千人	14,100 千人	-1.7 千人
グロドノ州	10,378 千人	10,393 千人	-1.145 千人
ミンスク市	19,916 千人	19,928 千人	-1.145 千人
ミンスク州	14,286 千人	14,286 千人	+69 千人
モギリョフ州	10,509 千人	10,529 千人	-1.967 千人
全体	94,653 千人	94,756 千人	-9.912 千人

(5/12 TUT.BY)

### 【対外経済】

#### ●ベラルーシ・ロシア、石油パイプライン「友好」における石油汚染損失額算定ワーキンググループ設立合意。(5/16)

ドミトリー・コザク・ロシア副首相が、イーゴリ・シャシェンコ・ベラルーシ副首相との会談の結果、同合意に至ったと表明。コザク副首相は、本石油汚染にて発生した被害の補填責任はロシアにあると認めている。なお、アレクサンドル・ノバク・ロシアエネルギー大臣は、同汚染による被害推定額は1億ドルを超えない見通し、と公表。

(5/16 ベラパン通信)

#### ●ベラルーシ食品企業が上海食品展覧会へ参加(5/14-16)

ベラルーシからは精肉・乳製品、アルコール飲料を中心に 14 社が参加。なお、同展覧会への参加国数は70カ国、参加企業総数4,300社。

(5/14 ベラパン通信)

#### ●駐中国・ベラルーシ大使が、中国不動産最大手

## 「緑地集団」国際貿易・サプライチェーン事業部部長 と面談(5/11)

面談では、中国・ベラルーシ間で、多様な分野における相互に有益な協力に関して協議なされた。緑地集団は、不動産建設、各種貿易、金融など多角的な事業を行っている一方で、中国東方航空の共同株主でもある。

(5/13 ベラパン通信)

## ●リンキャピチュス・リトアニア外務大臣、オストロヴェツ原発に関しコメント(5/13)

発言要旨は以下：

- ・同原発が首都ビュリヌスから50キロと非常に近い距離にあることは問題
- ・国際会議等で複数に亘り、同原発の建築基準違反に関し指摘してきたが、ベラルーシ側の一貫した否定姿勢は誠に遺憾。
- ・ベラルーシ側がこのような姿勢でいるかぎり、リトアニアも譲ることはできない。

(5/13 ベラパン通信)

## ●2019年第一四半期の貿易量、前年同期対比減

ベルスタットによると 2019年第一四半期の貿易量は16,474百万USDと前年同期対比3%減少。なお、輸出は、7,713百万USDと前年同期対比3.2%減。輸入は、8,761百万USDと前年同期対比2.8%減。

(5/12 ベラパン通信)

(了)